



2023年1月19日

各 位

会 社 名 HOUSE I 株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 管 祥紅  
(コード番号：5035 東証グロース市場)  
問 合 せ 先 取締役 兼 執行役員管理本部長 羽入友則  
(TEL 03-4346-6600)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年1月19日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年7月28日に開示した2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,475	百万円 377	百万円 392	百万円 273	円 銭 42.92
今回修正予想（B）	4,253	194	208	142	22.36
増減額（B－A）	△221	△182	△183	△130	－
増減率（％）	△5.0	△48.4	△46.7	△47.9	－
（参考）前期連結実績 （2021年12月期）	百万円 4,102	百万円 202	百万円 284	百万円 271	円 銭 45.98

#### 2. 修正の理由

売上高につきましては、越境EC事業セグメントの売上高が、中国のゼロコロナ政策による中国国内の物流の混乱等の影響と、それに伴う顧客の購買意欲の低下が想定よりも長期化し、計画を206百万円下回るなどにより、連結売上高は前回発表予想を221百万円下回る見通しです。

営業損益の面では、越境EC事業セグメントで売上高未達に伴い計画を44百万円下回る見通しです。また、情報システム事業セグメントにおいては、売上高は概ね計画通り確保する見通しですが、中国元の為替レートが想定18.045円／元に対して実際は期中平均レートが19.390円／元になったことから、中国の連結子会社で発生する売上原価及び一般管理費の為替換算後の円建て費用が増加した影響、及び2022年11月末に完了予定であった1つの開発プロジェクトで、最終段階での仕様追加及び品質確保に対応するため開発期間が延長され、この追加工数に対する開発費用の負担について顧客と交渉中であるため、いったん当社の負担として費用計上した影響、並びに2022年10月より開始が予定されていた新規開発プロジェクトの開発開始時期の遅延により、これに向けて確保していた要員のコストが先行して発生したことによる影響などにより、前回発表予想を137百万円下回る見通しです。このため、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も前回発表予想を下回る見通しです。

(注) 上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上